

プログラム名 「 Once Upon a Time in 潮来 」

1 プログラム設定の目的

古くから水運陸路の要所として栄え、「あやめまつりの元祖」と言われる潮来。市では「潮来の四季」として、5月、6月に開催しているあやめまつりだけでなく、各季節で楽しめるイベント整備及びPRを行っているが、あやめまつりのイメージが強く、国・県・市で指定されている貴重な多くの文化財や史跡等にスポットが当たっていない。そこで水上交通の要として栄えた時代よりもさらに昔、水辺に栄える豊穡地であった潮来地方の地域学に生涯学習の視点でスポットを当て、地域住民や地元高校生と学び、訪れ、感じることで、潮来の魅力を再確認し、その魅力を発信することで地域活性化や観光につなげる。

2 事業の概要

市内に所在する文化財・史跡等（島崎城址、大生古墳群、大生神社・大生の七つ井戸等）を保存し、観光資源としての活用に取り組んだ事業である。「島崎城跡を守る会」をはじめ各地元有志団体と市、そして地域との連携を模索していた潮来高校地域ビジネス科が連携し、地域の魅力向上・活性化につながる活動を続けている。

本年度史跡等の環境整備はいっそう進められた。島崎城址では、城内の清掃、看板設置等の環境整備が進められたおかげで、市への史跡問い合わせや史跡来訪者が増えている。しかしながら、新型コロナウイルス感染対策のため、潮来高校地域ビジネス科の活動も制限されている状況にある。

●連携●

連携・協力団体		役 割
市町村	潮来市生涯学習課	本プログラム企画・推進の主体
	潮来市産業観光課	潮来市生涯学習課との連携
地域連携	県立潮来高校 地域ビジネス科	市文化財・史跡についての情報発信
	島崎城跡を守る会	市史跡島崎城跡の環境整備と保存、 本プログラムへの協力
	潮来市風土記の里保存会	本プログラムへの協力
	郷土史研究会	島崎城跡・大生古墳群・大生神社等につ いての啓発・普及
生涯学習 センター	県南生涯学習センター	各団体間との連絡と調整、研修会・講師 の紹介、 現地調査等の企画運営、本プログラムへ の支援
大 学	茨城大学	プログラム企画への助言と支援
	筑波大学	高校生の研修に講師派遣

3 成果

- (1) 市民参画と市の再発見が結びつくとともに、高校生が参加したことで、世代的な広がりを見せる結果となった。
- (2) 史跡の保存を観光資源の活用につなげ、住民活動が活性化した。
- (3) この事業に参加した高校生にとっても、地元潮来市の再発見につながった。また県立潮来高校「Once Upon a Time in 潮来」～潮来の魅力再発見～の取組は、「茨城の魅力を探究し発信する高校生コンテスト2019」（茨城大学人文社会学部主催）で企業特別賞を受賞した。
- (4) 史跡等の環境保全を自主的に行う有志団体やそのリーダーの存在は、地域の活性化に資するものである。

4 課題

- (1) 史跡等の環境保全を行っていく活動や団体をどう継承していく。
- (2) 行政面の理解・支援が、事業を継承していくためには不可欠である。